

# ごみの搬入検査を実施しています

「エコパークたつおか」では、可燃ごみの中に不適物（不燃物）が混入したまま処理をすることのないよう、ピットへの投入前に「搬入検査」を行っています。

搬入検査は、施設の機器や設備への損傷等を未然に防ぎ、適正なごみ処理を行うことを目的として行っています。

一般家庭とは別に、会社やお店などの事業活動から出されるごみ(事業系一般廃棄物)も受け入れています。が、「きちんと分別して」出してください。

## 1. 搬入検査の手順

- ① 検査対象車両を選び、ごみピットに投入する前に積載物を降ろして検査を始めます。
- ② 金属類などの不適物が混入されていないか、袋の中身を確認していきます。
- ③ 不適物が混入していたときは、持ち帰りの指示と搬入ルールに基づく指導を行います。
- ④ 検査後は、重機を使ってごみピットへ投入します。

### — 搬入検査の様子 —

(1) 車両から搬入された積載物を降ろした様子



(2) 不適物の混入を確認している様子



(3) 検査が終了して、ごみピットへ投入する様子

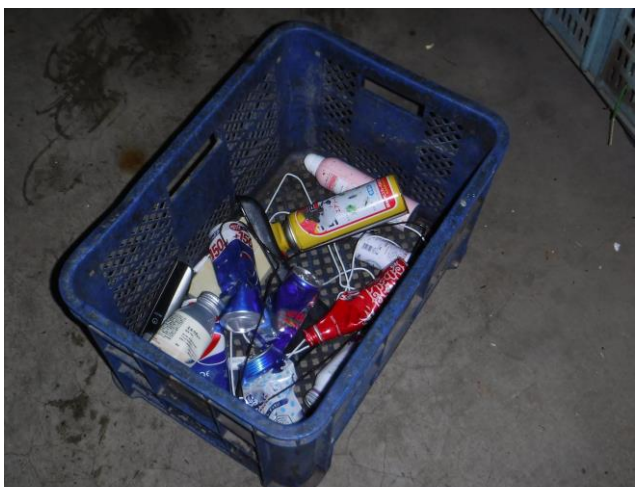


(4) 可燃粗大ごみを検査している様子





## 2. 可燃ごみ搬入検査で見つかった不適物(金属類)の例





### 3. 可燃ごみ搬入検査で見つかった不適物(廃プラスチック)の例



「エコパークたつおか」は、日常の生活をしていくうえで、とても大切な施設です。

機器を損傷させるような不適物は、施設だけでなく、通常行っているごみ処理業務にも大きな影響を与えてしまいます。

安定かつ、適正な稼働を持続していくため、ごみは「きちんと分別して」出していただけますよう皆さまのご協力をお願いします。